

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

Ⅰ：基本施策				R元(現状)	項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	令和5年度進捗状況	R5年度達成率評価	R12(長期目標)	達成率	R12に向けての見直し	方針ごとの達成評価
1 多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり																					
1-1 持続可能な森林整備の推進	111 除間伐を必要とする人工林に対する整備割合	－	目標値	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	利用期を迎え高齢化する林分構成により、保育間伐をはじめとして森林整備の実施面積は減少する傾向にある。 ・間伐等の森林整備実施面積1,674ha(目標2,600ha)	B	90%	71%	➡	・奥地での針広混交林化やライフライン沿いの危険木除去など、多様な森林整備に取り組んだ。 ・また森林の境界明確化の基礎資料となる合成公園の作成等にも取り組み、より多くの森林整備を確保することができた。 【今後の方向性】 ・引き続き、森林経営管理制度の推進等により、除間伐等の森林整備を確保しつつ、林業適地の適切な把握と主伐・再造林の促進に努める。
		54%	実績値	89%	87%	84%												➡			
		－	達成率	77%	74%	71%															
	112 民有林の森林経営計画カバー率	－	目標値	10%	11%	11%	12%	12%	13%	13%	14%	14%	15%	新規樹立計画はあるものの、森林整備を行った後、更新しない計画も見られることから、カバー率としては伸び悩んでいる。 (経営計画作成面積 16,660ha、森林面積 183,907ha)	A	15%	60%	➡			
		9%	実績値	10%	10%	9%															
		－	達成率	100%	91%	82%															
	113 合成公園作成面積(累計)	－	目標値	14,333ha	17,407ha	20,481ha	23,555ha	26,829ha	29,703ha	32,777ha	35,851ha	38,925ha	42,000ha	令和5年度に1,288haの合成公園作成を実施できており、主要な箇所については合成公園を作成できた状況となっている。今後も引き続き優先度の高い箇所を中心に年間1,000ha程度の合成公園作成を順次進めていく。 ※進捗率 (33,744-11,259)/(42,000-11,259)=73%	A	42,000ha (累計目標)	73%	➡			
		11,259ha	実績値	30,774ha	32,456ha	33,744ha															
		－	達成率	215%	186%	165%															
1-2 生物多様性の保全	121 下層植生衰退度3以上の森林の割合 ※衰退度3は半数以上の森林で高木の後継樹が消失、傾斜地では約10%の森林で強度の土壌浸食が発生する衰退度 ※現状値:平成29年度	H29	目標値	－	10%	－	－	－	－	10%	－	－	－	下層植生衰退度3以上の割合は減少傾向であり、やや改善が見られた。ただし、これまで食害のなかったエリアで新たに食害が広がっていることから、今後もモニタリングが必要である。	－	10%	67%	－			
		19%	実績値	－	15%	－															
		－	達成率	－	67%	－															
2 多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり																					
2-1 多様な主体による森林づくりの推進	211 森林づくりに関する講座等への参加者数(累計) ※森林づくりに関心を持ち、積極的に関わる人材を養成するために、県や市町等が実施する講座や研修会等への参加者数	－	目標値	200人	330人	470人	600人	730人	860人	990人	1,120人	1,250人	1,400人	昨年度までコロナ感染症拡大のため、研修会の開催自体が少なかったが、5類移行後は各種研修会が開催できるようになった。 (内訳県民講座:34人、実践講座:125人、センター研修:43人、その他市町等開催:96人) ※進捗率 (753-66)/(1,400-66)=51%	A	1,400人 (累計目標)	51%	➡	人や経済の循環を創出する「やまの健康」に向けた具体的な地域との関わりを創出し、農山村の活性化に取り組んだ。		
		66人	実績値	253人	455人	753人															
		－	達成率	127%	138%	160%															
2-2 森林の整備・林業の振興と農山村の活性化の一体的な推進	221 「やまの健康」を具体化する企業等が関わる取組数(累計)	R4年度	目標値	－	－	13企業等	15企業等	17企業等	20企業等	23企業等	26企業等	28企業等	30企業等	都市部(企業)の多様なニーズに応えられるよう、「琵琶湖森林づくりパートナー協定」をはじめとする「都市とやまをつなぐ」メニューの整備や体制づくりに取り組むとともに、人や経済の循環を創出する「やまの健康」に向けた具体的な地域との関わりへの支援を行った。 ※進捗率 (17-11)/(30-11)=32%	A	30企業等 (累計目標)	32%	－	【今後の方向性】 ・2022年全国植樹祭の開催を契機とし、引き続き県民等の森林づくりへの理解や参加を促進していく。		
		11企業等	実績値	－	－	17企業等															
		－	達成率	－	－	131%															
3 森林資源の循環利用による林業の成長産業化																					
3-1 活力ある林業生産の推進	311 県産材の素材生産量	－	目標値	131,000m3	142,000m3	144,000m3	147,000m3	150,000m3	153,000m3	156,000m3	159,000m3	162,000m3	165,000m3	森林組合系統および素材生産業者における素材生産量は、年々増加傾向にあるものの令和5年度は前年度より増加したものの目標値には届かなかった。施業集約化や間伐等の森林整備が目標に届かなかったこともあり、目標を達成できなかったものと考えられる。 今後も引き続き、幅広い利用や需要に応じていけるよう、目標達成に向けて、素材生産の一層の拡大に取り組む必要がある。	B	165,000m3	61%	➡			
		100,800m3	実績値	99,400m3	98,800m3	100,900m3															
		－	達成率	76%	70%	70%															
3-1 活力ある林業生産の推進	312 林業就業者の平均給与	R3年度	目標値	－	－	3,513千円	3,626千円	3,739千円	3,852千円	3,965千円	4,078千円	4,191千円	4,300千円	雇用管理の改善等に取り組む林業事業者を法令に基づいて県で認定しており、その林業事業者(15社)の平均給与を指標としている。 認定事業者の増減率により、想定していた進捗計画値より高い実績値となったが、全産業平均と比較すると依然低位である事から、今後は実態を把握するため聞き取り調査を行う必要がある。	A	4,300千円	97%	－			
		3,400千円	実績値	－	－	4,152千円															
		－	達成率	－	－	118%															
3-2 県産材の加工・流通体制の整備	321 びわ湖材製品出荷量(原木換算)	－	目標値	62,800m3	66,800m3	74,400m3	80,200m3	86,000m3	91,800m3	97,600m3	103,400m3	109,200m3	115,000m3	びわ湖材証明を行った素材生産量は近年増加してきたものの、施業集約化や間伐等の森林整備が目標に届かなかったこともあり、目標を達成することができなかった。今後は、施業の集約化、路網整備、機械化、間伐および主伐・再造林の推進等により、生産量の増加を図っていくとともに、販路拡大に取り組む。	A	115,000m3	58%	➡	・施業集約化や間伐等の森林整備が目標に届かず、素材生産やびわ湖材の製品出荷について前年度より増加したものの目標には届かなかった。		
		64,750m3	実績値	61,820m3	65,700m3	66,800m3															
		－	達成率	98%	98%	90%															
3-3 あらゆる用途への県産材の活用	331 しが木育に親しむ人の数(累計)	R3年度	目標値	－	－	9,000人	12,000人	15,000人	18,000人	21,000人	24,000人	27,000人	30,000人	木育イベントの開催と木育講座の開催により、しが木育に親しむ人を増やすことができた。木育イベントの開催日に天候のすぐれない日があり、来場者数が見込みよりも少なくなったため、目標値よりも少ない実績値となった。	A	30,000人	29%	－	【今後の方向性】 ・引き続き、効率的な素材生産の支援などにより、森林資源の循環利用の促進に努めることとし、あわせて公共施設の木造・木質化等を通じ県産材の需要拡大を図る必要がある。		
		2,226人	実績値	－	－	8,715人															
		－	達成率	－	－	97%															
3-3 あらゆる用途への県産材の活用	332 県の整備する公共施設のびわ湖材による内装等木質化率	R3年度	目標値	－	－	80%	85%	85%	90%	90%	95%	95%	100%	15件中14件について、びわ湖材による内装等木質化が実施された。1件については、指標とずる前に設計が完了しており、工事実施の際の変更による対応であったため、びわ湖材ではなく「滋賀県産材」としての利用となった。(びわ湖材産地証明制度による証明書が付かなかった)	A	100%	93%	－			
		80%	実績値	－	－	83%															
		－	達成率	－	－	116%															
3-4 ICTを活用した林業・木材産業の競争力強化	331 林業産出額	－	目標値	11.1億円	11.4億円	11.7億円	12.0億円	12.3億円	12.6億円	12.9億円	13.2億円	13.5億円	13.8億円	(令和4年 森林水産統計 令和6年2月20日公表) 令和4年は、製材用素材等の価格上昇の影響が続いたことや燃料用チップ素材の生産量が増加したこと等により、木材生産の産出額が増加した。	B	13.8億円	71%	➡			
		10.8億円	実績値	8.1億円	9.2億円	9.8億円															
		－	達成率	73%	81%	84%															
4 豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくりの推進																					
4-1 林業の担い手の確保・育成	411 滋賀もりづくりアカデミーで技術習得に取り組んだ新規林業就業者数(累計)	－	目標値	6人	12人	18人	24人	30人	36人	42人	48人	54人	60人	滋賀もりづくりアカデミーで技術習得に取り組んだ新規林業就業者数6名。 ※進捗率 17/60=28%	A	60人 (累計目標)	28%	➡			
		－	実績値	8人	11人	17人															
		－	達成率	133%	92%	94%															
4-1 林業の担い手の確保・育成	412 林業就業者数	R3年度	目標値	－	－	250人	250人	250人	250人	250人	250人	250人	250人	若い新規就業者の確保は一定図られているが、それ以上に高齢就業者の離職が多く、林業就業者数は近年減少傾向にある。年齢構成から、今後も高齢就業者の離職は続く見込まれるため、これまで以上に就業相談会の実施や滋賀もりづくりアカデミーにより新規就業者の確保を図っていく必要がある。	B	250人 (累計目標)	89%	－	・人材育成については、滋賀もりづくりアカデミーを中心とし、林業従事者の確保や技能向上に取り組んだ。 ・森林環境学習「やまのこ」や自然を活用した幼児教育・保育等に取り組んだ。		
		243人	実績値	－	－	223人															
		－	達成率	－	－	89%															
4-1 林業の担い手の確保・育成	413 森林経営プランナー数(累計)	R4年度	目標値	－	－	2人	3人	4人	5人	6人	7人	7人	7人	R5年度は育成のための研修を実施し2名が参加したが、資格取得の途上にある。 今年度も引き続き認定資格が得られるよう育成を図る。	C	7人 (累計目標)	14%	－	【今後の方向性】 引き続き、次代の森林を担う人づくりを進める。		
		1人	実績値	－	－	1人															
		－	達成率	－	－	50%															
4-2 次代の森林づくりを担う人々の理解の促進	421 自然を活用した幼児教育・保育に取り組む団体数(累計) ※幼児教育・保育に、森林など自然の中での活動を積極的に取り入れている団体	－	目標値	10団体	14団体	19団体	23団体	28団体	32団体	37団体	41団体	46団体	50団体	しが自然保育認定制度や補助制度、保育士等スキルアップのための研修会を実施するなど、保育団体等に対する普及啓発を積極的に実施した。 今後は、保育部局等とより一層連携し、自然保育を推進する必要がある。 ※進捗率 (19-5)/(50-5)=31%	A	50団体 (累計目標)	31%	➡			
		5団体	実績値	13団体	15団体	19団体															
		－	達成率	130%	107%	100%															

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

Ⅱ：重点プロジェクト【5年間の取り組み】		R元(現状)	項目	R3	R4	R5	R6	R7	進捗状況	R5年度 達成率評価	R7(目標)	達成率	達成率評価
1 花粉の少ない再造林 促進プロジェクト	1-1 年間再造林面積	－	目標値	20ha	27ha	35ha	43ha	50ha	再造林について、補助率の見直し等の強力な支援や森林所有者等への働きかけを行い、目標を達成することができた。	A	50ha	84%	B
		11.5ha	実績値	19ha	30ha	42ha							
		－	達成率	95%	111%	120%							
2 災害に強い森林づくり プロジェクト	2-1 ライフライン保全整備箇所数(累計) ※関係者との適切な調整のもと、予防的に伐採 処理等が行われた箇所	－	目標値	5箇所	10箇所	15箇所	20箇所	25箇所	市町、森林所有者およびインフラ施設管理者と連携し、インフラ周辺の森林整備等に取り組んだ。	A	25箇所 (累計目標)	128%	A
		－	実績値	11箇所	25箇所	32箇所							
		－	達成率	220%	250%	213%							
3 「やまの健康」推進プ ロジェクト	3-1 地域資源の活用に取り組む森林・ 農山村団体の数(累計)	－	目標値	7団体	9団体	11団体	13団体	15団体	令和元年以降累計で、「やまの健康」モデル地域の関係団体やその他地域で活動する21団体に対し、地域資源を活用した商品やサービスの開発に向けた取組について支援した。 ※進捗率 (21-5)/(15-5)=160%	A	15団体 (累計目標)	160%	A
		5団体	実績値	16団体	18団体	21団体							
		－	達成率	229%	200%	191%							
4 公共建築物木造化プ ロジェクト	4-1 県産材を活用する建築設計に関す る支援を行った公共建築物数(累計)	－	目標値	10件	15件	20件	25件	30件	県および市の整備する公共建築物に対して、木造化促進アドバイザーによるアドバイザーを行った。県産材による設計や工事発注による利用拡大、調達可能な木材による適切な価格や工期設定による施設整備の着実な実施、発注者や設計者の木材利用に関する理解醸成による公共建築物の木造化の推進が図れた。 ※進捗率 21/30=70%	A	30件 (累計目標)	70%	B
		－	実績値	10件	17件	21件							
		－	達成率	100%	113%	105%							
	4-2 産業用建築物における木造率 ※建築住宅着工統計における公共建築物と民間 非住宅の合計	－	目標値	6.3%	6.8%	7.3%	7.8%	8.0%	公共建築物への木材利用を促進する取組により、産業用建築物の木造建築物の着工数は前年度と同等であったが、建築物全体の着工数は減少するものの床面積の合計は増加しており、規模の大きな建築物(鉄骨造の事務所用途)が増えたため、木造率が減少したと考える。	B	8%	81%	B
		5.8%	実績値	7.4%	7.9%	6.5%							
		－	達成率	117%	116%	88%							
5 木質バイオマス地域 循環プロジェクト	5-1 エネルギーとして利用される木質バ イオマスの量	－	目標値	23,200絶乾トン	24,900絶乾トン	26,600絶乾トン	28,300絶乾トン	30,000絶乾トン	素材生産量の伸びに応じて、エネルギーとして利用される木質バイオマスの量も若干増加し、目標は達成できた。 発電：28,564絶乾トン 熱利用：118絶乾トン	A	30,000絶乾トン	96%	A
		21,497絶乾トン	実績値	31,475絶乾トン	28,155絶乾トン	28,682絶乾トン							
		－	達成率	136%	113%	108%							
6 木育活動促進プロジェ クト	6-1 木育指導者の数(累計)	－	目標値	5人	7人	9人	12人	15人	以前から活動されている2名の木育指導者と協力し、木育講座を開催し、木育指導者の育成を図った。また、講座に参加された方に木育イベントにも参加していただき、今後の指導者としても活動につながるよう取り組んだ。 ※進捗率 9/15=60%	A	15人 (累計目標)	60%	C
		－	実績値	2人	6人	9人							
		－	達成率	40%	86%	100%							
7 林業人材育成プロジェ クト	7-1 滋賀もりづくりアカデミーにおける既 就業者コースで技能向上に取り組む作 業班数(累計)	－	目標値	13班	18班	28班	38班	50班	R元年度から開始した基礎研修は、支援対象となる全作業班に対し研修を行った。技能向上の研修についても全作業班について行う予定であったが、育成対象とする作業班を絞り込み、内容の充実をはかった育成に変更して取り組んでいるところ。 ※進捗率 10/50=20%	D	50班 (累計目標)	20%	E
		－	実績値	7班	8班	10班							
		－	達成率	54%	44%	36%							

個々の取組みの達成率の評価 A：90%以上 B：70－89% C：50－69% D：30－49% E：30%未満